

平成〇〇年度 個別の教育支援計画
〔指導計画〕

平成〇〇年4月25日記入

ふりがな 氏名	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇〇	性別	〇	学級	1年〇組	記入者名 (所属)	〇〇 〇〇 (担任)	
診断名等	診断名：知的障害、自閉症 平成〇〇年〇〇月〇〇日診断 医療機関名：〇〇病院				服薬	(有) 無 〇〇〇〇〇〇		
検査結果等	検査名	遠城寺式・乳幼児分析的発達検査						
	検査結果	移動運動0.0~0.0		手の運動0.0~0.0		基本的習慣0.0~0.0		
		対人関係0.0~0.0		発語0.0~0.0		言語理解0.0~0.0		
	実施期日	平成〇〇年〇〇月〇〇日						
	実施機関	〇〇市教育センター						
障害者 手帳	身体	有 (無) 級 (平成 年 月 日交付)						
	療育	(有) 無 A1 (A2) B1 B2 (平成〇〇年〇〇月〇〇日(交付)・再交付)						
	精神	有 (無) 級 (平成 年 月 日交付)						
家庭状況	・父、母、本人、弟(年少児)、祖父の5人家族。 ・休日は、子ども向け番組の「〇〇」を視聴することを好む。							
本人及び 保護者の 願い	[本人] ・車が好きなので、ミニカーを使った活動がしたい。 [保護者] ・周りの人と、簡単なやりとりができるようになってほしい。							
健康上の 配慮	・てんかん発作による転倒の危険があるので、移動時はヘッドギアを着用する。							
生活 の様子	うまくいっている状況			つまずいている状況と必要な支援				
	学習	・日常生活における簡単な声かけを理解することができる。 ・同じ色のブロックを、分けることができる。 ・手先が器用で、紙工作や手遊びが好きである。			・絵本の読み聞かせの場面では、離席してしまうことが多いので、身振りなどを使い、関心が持てるようにする。			
	生活習慣	・服の前後を間違えることがあるが、自分で衣服の着脱ができる。 ・排尿は自分でできるが、排便はオムツを使用している。			・偏食はあるが、牛乳と白米は好きである。食事は、無理に食べさせず、本児の意思を確認する。 ・初めての経験や場所が苦手なので、事前に写真などを見せ、見通しが持てるようにする。			
対人関係	・手遊びなど、やりたいことがあるときは、自ら担任に近づくことができる。 ・呼名に対し、「はい」と返事ができるようになってきた。			・集団の中では、不安で動けなくなることがあるが、担任がそばにいと参加することができる。				

1年間の目標	・担任や学級の友達へ自らの思いを伝えようとするができる。
評価	

教科等	指導目標	指導の手立て	評価
生活	・担任や友達と同じ場所で遊ぶことができる。	・友達が遊んでいる様子を見ている時間も、参加の一部と捉え待つ。本児のやりたいというしぐさが出たときを見逃さず、一緒にやる？と提案する。	
国語	・絵本の読み聞かせに関心を持つ。	・車の絵本の読み聞かせを行う際、本児に車のペーパーサートを持って走る役をお願いするなどし、車の絵本の話を楽しむを味わう。	
算数	・同じ絵カードと絵カードを選ぶことができる。	・一方の絵カードを透明シートに記入し、正解の絵カードとぴったり重なることで、正解が分かるようにする。	
音楽	・音楽を聞いて、体を動かすことができる。	・大好きな手遊びやバスの歌に合わせて、担任と一緒に体を動かすことができる。	
図画工作	・粘土を使って簡単な形を作ることができる。	・粘土の感触を味わいながら、円や四角の形にし、好きな車を作ることができる。	
体育	・担任と一緒に走ることができる。	・道路や信号、横断歩道などの環境を作り、その中を車のまねをして、担任と走ることができる。	
特別活動	・担任と一緒に運動会に参加できる。	・本児の好きな番組の「〇〇」の体操を取り入れ、担任と集団での活動に参加できるようにする。	
自立活動	・担任に視線を向け、思いを伝えようとする。	・本児が「あか」と言ったら、担任が消防車のミニカーを渡すなど、本児の好きなミニカーを使って、伝えようとする意欲を育てる。	
合理的配慮	教育内容・方法	・本児の好きな車を学習に取り入れ、主体的に取り組めるようにする。	
	支援体制	・てんかん発作が起きたときの対応を共通理解しておく。	
	施設・設備	・特になし	

記載内容について承諾しました。

平成〇〇年5月10日 保護者名 (〇〇 〇〇)